



# 配偶者暴力防止法が変わります！

平成20年1月11日スタート

保護命令制度の拡充、市町村に対する基本計画策定の努力義務等を定めた「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(配偶者暴力防止法)の一部改正法が、平成19年の通常国会で成立し、平成20年1月11日に施行されます。

## 主な改正のポイント

### 1 保護命令制度の充実

生命・身体に対する脅迫を受けた被害者も保護命令の申し立てができます。

被害者に対する電話・電子メール等が禁止されます。

被害者への接近禁止命令の実効性を確保するため、被害者の申し立てにより、被害者への接近禁止命令と合わせて、裁判所は配偶者に対し、被害者に対する以下のいずれの行為も禁止する保護命令を発することができるようになります。

- 1 面会の要求
- 2 行動の監視に関する事項をつけること等
- 3 著しく粗野・乱暴な言動
- 4 無言電話、連続しての電話・ファクシミリ・電子メール(緊急やむを得ない場合を除く)
- 5 夜間(午後10時～午前6時)の電話・ファクシミリ・電子メール(緊急やむを得ない場合を除く)
- 6 汚物・動物の死体等の著しく不快又は嫌悪の情を催させる物の送付
- 7 名誉を害する事項を告げること等
- 8 性的しゅう恥心を害する事項を告げること等又は性的しゅう恥心を害する文書・図画の送付等

被害者の親族等も接見禁止命令の対象となります。

### 2 市町村基本計画の策定

都道府県のみ義務付けられていた配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための実施に関する基本計画の策定が、市町村の努力義務となります。

### 3 市町村配偶者暴力相談支援センターの設置

市町村の適切な施設において、配偶者暴力相談支援センターとしての機能を果たすようにすることが、市町村の努力義務となります。



## 女性学・ジェンダー研究・交流フォーラムに参加して

主催 国立女性教育会館（埼玉県嵐山町） 8月30日～9月2日



釧路市では、地域で活躍する女性たちに学習の機会を提供することを目的として「釧路市女性道外派遣研修事業」を実施していますが、平成 19 年度も一般公募者の中から 2 名を国立女性教育会館主催の「フォーラム」に派遣しました。

参加者は、5 回のワークショップ、女性関連施設の視察など 4 日間の日程を終えて帰釧しました。以下、2 名の参加者の研修レポートから感想の一部を紹介します。

小川 宣子さん

プログラムは、最後まで、熱い日々連続でした -

男女共同参画という研修は私にとっての仕事としては専門ではなく手探り状態からのスタートでした。事前研修があったとはいえ、各ワークショップ、参加者の取組や実践に圧倒されるばかりでした。それでもなんとか頑張ろうと一生懸命になりました。研修後のことを思うと、お役に立てるのか、どのように生かしていけるのか心配でいっぱいになりました。しかし、研修を受けるうちにそれが自信へと変わっていったのです。そのくらいパワーのある内容だったのです。

3 日間、全国からのワークショップは 60 を超え、女性リーダーばかりではなく、男女共同参画ということから男性の参加も多く、これからますます男女の差がない社会へと広がっていくと感じました。そのためにも男女共同参画のセンターをつくり、周囲へ認知してもらう、利用してもらう、ということをやらないといけない。

私は思います、仕事や社会においては男女が平等であり、共に参画することは当然のことですが、女性は女性、男性は男性としてのあるべきものは尊重し、生かし、その上で男女平等、男女共同が成り立っていくと。

森崎 三記子さん

- パワー全開！！大きな財産をいただきました

ワークショップを開催する参加者達、全国の NPO 法人で活動している老若男女、地方行政を担う男女共同参画の担当者達、毎年参加しているというウルトラウーマン達、さすがにパワー全開です。

私はと言えば、まわりの熱気に圧され気味で少々発言も控え目になってしまいましたが、年に一度、日本の真ん中に位置する土地で開催されている大規模なフォーラムに参加できたこと、その一員となってワークショップの開催者が発表する研究や活動の内容、そしてテーマとして投げかけられた事柄について、違う土地の違う環境に暮らす方たちと共に考え話題を提供し合えたことに大変感動し、とても大きな財産をいただいた気持ちになって帰ってまいりました。そして、この感動と形にはなかなか表現はできない大きな財産を、この我が街でなんらかの形で表現し、還元できるような暮らしを実現したいと、今、考えております。

そして、このような企画に是非多くの市民の方々に参加していただき、一人ひとりの力で釧路の発展の為に貢献できますことを願ってやみません。

どうも良い年を！

